

おおみか

かわら版 No. 198 2021年 7月号



令和 3年6月20日 発行
大みか交流センター
TEL・FAX 53-5211
発行責任者 小松 信保

《7月の主な行事予定》

行事名	日(曜日)	時間	場所
再生資源回収	6(火)	6:30~	大みか学区内
粗大ごみ(小)他収集日	9(金)	6:30~	大みか学区内
大みか大学	26(月)	10:00~	大みか交流センター
救急救命講習会	中止		
野外体験学習	実施する方向で検討しています		



《7月の大みか地区社協事業行事予定》

サークル名	活動日			活動時間
おもちゃライブラリー	7(水)	14(水) 健康相談	28(水)	10:00~11:30
サロン大みか	6(火)	20(火)		10:00~
サロンなぎさ	13(火)	27(火)		10:00~
大みかふれあい健康クラブ	8(木)			10:00~
ふれあい健康専科	休み			10:00~
すこやかシニア A	6(火)	20(火)		13:30~
すこやかシニア B	13(火)	27(火)		13:30~
男性のためのシルリハ体操教	12(月)			13:30~
ひたちおもちゃの病院	13(火)			13:00~15:00

■大みか大学講座 生涯学習部

『日本の名字を学ぶ』 ～名字には隠れた日本文化がある～

なぜ名字が生まれたのか？ どうして珍名は生まれたのか？

皆さんも自分の名字の由来や歴史に一度くらいは興味を持ったことがあるのではないのでしょうか。

今回の講座は、名字の基礎知識を学びながら、自分の名字の由来についてなどを考えてみましょう。

また、日立市や全国の珍しい名字の読み方や由来も一緒に知ってみよう。

- 日 時：7月26日(月) 10:00~12:00
- 場 所：大みか交流センター 多目的ホール
- 講 師：高信 幸男氏(名字研究家)
- 定 員：先着33名(大みか大学登録者優先)
- 参加費：無 料(ただし、大みか大学登録者以外は100円)
- 申込受付：6月28日(月)より
- 申込み：大みか交流センター



●市報ポスティングスタッフ大募集！

日立市では今年度の事業計画の中で『市報全戸配布事業』を実施します。
現在大みか学区での配布率は43%に留まっていますが、今後は町内会未加入の方や貸家にお住まいの市報未配布の方などにも順次配布していきます。

大みか学区での今後の配布計画として、まずは未配布のアパート、マンション等を重点に配布を開始する予定を立てました。全戸配布に伴い大みか学区では多くの市報梱包員や配送員のスタッフが必要となります。

みかサポ(大みか応援**サポ**ーター)として皆さまの応募をお待ちしております。

*ご協力頂ける方は、大みか交流センターまでご連絡をお願い致します。



◆町内会等で所有している防犯灯の名義変更はお済ですか？

市への移管申請書類の提出期限が **6月30日(水)まで** と迫っています。
期限を過ぎてからの提出も受理されますが、移管手続きが遅れる事により市からの電気料負担開始時期もその分遅くなります。検討している町内会等の方は、お早めにご提出ください。

*お問い合わせ … 日立市総務部くらし安心局交通防犯課 TEL 22-3111 (内)571



◆大みかフラワークラブ協力員募集

大甕駅前の整備も整い、設置された花壇にも花が咲き誇り行き交う人々の目と心を癒してくれています。

今後は駅前花壇を維持していくために『大みかフラワークラブ』を立ち上げ、市道路里親団体として認定を受けて活動することとなりました。

駅前をより綺麗に！ より華やかに！

子ども会や町内会、もちろん個人の方でも花の植え付けや駅前清掃など、環境美化活動にご協力頂ける方は交流センターまでご連絡下さい。



◆交流センターからのお知らせ

新しい生活様式対応整備事業補助金により

A | 検温器(体温監視モニター)を設置し、モニターにより自動で検温できるようになりました。

また、多目的ホールには網戸が未設置だった窓にロール網戸を取り付けました。

今年は虫に悩まされず快適に換気対策ができ、利用者の方には気持ち良く利用できるようになりました。



◆新型コロナウイルス感染症のワクチン接種は受けられましたか？

日立市でのワクチン接種は現在65歳以上となっておりますが、各地では職場接種や集団接種などの新たな方法も加えられ徐々に接種対象者も増えてきました。全国で希望者全員が受けられる日もそう遠くありません。接種したからと言ってもまだ安心できる生活とはいきませんが、明るい兆しが見えてきたのではないのでしょうか。

茨城県もステージ3から2に引き下げられ、感染拡大状況も少しずつ落ち着いてきたようにも感じられます。接種の効果に期待を膨らませながら、もう少し、あと少しの辛抱と思ってマスク生活を続けていきましょう。

